

地盤品質判定士会中部支部
令和7年度 第5回 幹事会 議事録

- A . 日 時 2026年1月16日(金) 15:00 ~ 17:00
- B . 場 所 国際航業 中部事業所 会議室 および Zoom
- C . 出席者 千野克浩[W]、桃井信也、居川信之、利藤房男[欠]、向井克之[W]、谷口一平[欠]、高森陽一[W]、北林篤[欠]、小嶋広幸[W]、堀中敏弘[欠]、倉橋智[欠]、藤代祥子[欠]、小山彰[W]、後藤弘明[欠]、品川恭一[W]、金森聰一郎[欠]、山名真広[欠]、植田博文、福島宏幸[欠]、竹田哲弘[欠]、広瀬義純[W]、長沼明彦[欠]、菊地將太
([W]は Zoom 参加、[欠]は欠席、敬称略、順不同)
- D . 配布資料
- ・報告-1 地盤品質判定士会中部支部 第4回幹事会議事録(幹事長)
 - ・報告-2 地盤品質判定士会本部幹事会報告(支部長)
 - ・報告-3 地盤に関する問い合わせ状況(調査 G)
 - ・報告-4 HPの更新について(幹事長)
 - ・審議-1 あいち防災フェスタ、講演会、報告資料
 - ・審議-2 第61回地盤工学会研究発表会(静岡)
 - ・審議-3 令和8年度総会企画について
 - ・審議-4 令和7年度振り返り、8年度事業計画(総務 G・行事 G・調査 G・広報 G)

E . 報告事項

1. 前回議事録の確認(報告-1)

前回幹事会(10月31日)の議事録を確認した。

2. 本部幹事会報告(報告-2)

本部幹事会は、1月14日(水)の開催であったことから、その内容は(本部幹事会の)議事録を用いて情報を共有する。千野支部長より以下の情報提供があった。

- ・第61回地盤工学会研究発表会の実行委員は、野田教授(委員長)、神谷教授(副委員長)及び中井准教授(委員兼幹事長)が務める。
- ・審査部は、全国45自治体と審査支援に係わる協議を実施していく。審査支援の引き合いがあることから、来年度も多くの新規契約が見込まれる。現在のところ、5つの自治体から、盛土規制法関連の審査支援業務を受注する予定である。

- ・東京地方裁判所の徳増判事と面談する予定である。徳増判事からは、判定士個々の得意分野などをデータベース化した情報の提供や、盛土規制法関連の民事裁判について審査を依頼されることが考えられる。
- ・広報委員会で本部と支部の備品と在庫を整理し、総務企画委員会で管理方法（備品管理表の作成など）を検討している。なお、本部と各支部の備品には、のぼり旗やタペストリーがあるため、支部会での活動に活用できるかもしれない。
- ・総務企画部からは、地盤品質セミナーの開催準備と開催呼び込みについて、支部長から支部内への働きかけ（支部幹事への案内）に関する協力依頼があった。
- ・関西支部は、寝屋川市と防災協定に関する打合せを行ったとの報告があった。
- ・神奈川支部では、支部の活動がラジオやテレビ（NHK）で紹介されたこともあり、市民相談の件数が増えている。また、宅地相談案件データベース（G-Space と Google Workspace for Nonprofit）を運用しており、その経過報告があった。今後は、当システムに他支部のデータを追加する予定とのことである。
- ・中部支部は、防災フェスタについて、出展内容と宅地相談の対応件数を報告した。
- ・中四国支部は、セミナーの開催報告と建通新聞に掲載されたコラムについての紹介があった。
- ・東北支部、九州支部、及び北陸支部からは、支部行事や一般相談の内容共有、ならびに審査支援に係わる協議の報告があった。
- ・「地盤品質判定士実務必携」が絶版になるとの報告があった。

3. 地盤に関する問い合わせ状況（報告-3）

（審議-4）の活動報告と併せて報告する。

4. HP の更新について（報告-4）

- ・HP 上の「宅地地盤」は「住宅地盤」に変更済みである。
- ・HP のメニューバーに「講演会」の項目を追加する予定である。
- ・定期総会の議案が 2023 年になっているため、2025 年版に修正が必要である。
- ・修正は、基本的に広報 G で対応するが、部分的に本部での対応が必要となるものがある。

F . 審議事項

1. あいち防災フェスタ、講演会、報告資料（審議-1）

- ・地盤相談会の来場者数は、一般来場者が 17 件なのに対して、会場出展者が 0 件であった。また、相談内容は多くが「自宅の地盤」に関するものであった。
- ・講演会の開催報告資料について、写真の追加を広報 G で対応する。

2. 第 61 回地盤工学会研究発表会（審議-2）

- ・千野支部長が実行委員に就任した。
- ・研究発表会の当日は、「市民向け講演会（共同企画）」及び「住宅無料相談会」を行うため、これらのワーキンググループを発足する。それぞれの担当窓口は、菊地幹事（広報 G）を植田幹事（調査 G）とする。
- ・第二回実行委員会は 4 月 10 日（金）に WEB で行われる予定である（菊地幹事、植田幹事が参加予定）

3. 令和 8 年度総会企画について（審議-3）

- ・来年度の総会は 5 月 22 日（金）を予定する。総会参加者の予定を確認した後、会場手配を行う。
- ・幹事長の交代に向けて、事前に補佐役を任命できることが望ましい。

4. 令和 7 年度振り返り、8 年度事業計画（審議-4）

- ・各グループの振り返りと来年度の事業計画を共有した。
- ・総務 G は、マニュアル類の整備を継続して行う。
- ・行事 G は、講演会の運営と外部見学会を企画する。講演会の日程は、3 月に決定する予定である。
- ・調査 G は、関係する諸団体や自治体との交流事項について絞り込みを行う。
- ・広報 G は、名古屋大学との協働や自治体との連携を企画しているが、企画後は他グループに実行を依頼することが考えられる。

G . その他

- ・勉強会：関西支部 八谷副幹事長「自治体とのアドバイザリー業務契約について」
- ・次回幹事会の予定

2026 年 3 月 13 日(金)15 時 ~

以上